



和'S (わずやまと) YAMATO 冬号 2013



NHK大河ドラマより『軍師官兵衛』
「天空の白鷺」姫路城大天守の改修工事見学施設
キリスト教伝来の地を訪ねる(上)
八重の桜 ゆかりの場所・同志社墓地(京都市)

- ◎コラム「温度といきもの」
- ◎お客様紹介 医療法人愛広会 様
- ◎名水探訪 出流原弁天池



黒田官兵衛父祖の廟所

向かって左が祖父の重隆、右が父の識隆、御着城址公園に隣接している。官兵衛の墓所は福岡にある。



黒田官兵衛顕彰碑

御着城址公園内にある。黒田家の家紋や官兵衛の甲冑を彫ったレリーフがはめ込まれ、官兵衛と御着城の関わりを記した銘板もある。



ひろみね 広峯神社の拝殿 (兵庫県姫路市広峰山山頂)

この地に社殿が建てられたのは平安時代で、京都祇園の八坂神社は貞観11年(869)にここより遷座されたとされている。拝殿は寛永3年(1626)に姫路城主・本多忠政が再建したものだ。



顕彰碑にはめ込まれた官兵衛の甲冑。



顕彰碑の隣に植えられている目くすりの木。官兵衛の先祖は広峯神社の神符を貼った目葉を販売し、財を成した。



小寺大明神

御着城本丸跡に、小寺氏三代の城主と当時の戦死者を祀っている。



御着城址の碑

兵庫県姫路市御国野町御着(旧播磨国飾東郡)にあった城。城内に山陽道や城下町をとり込んだ惣構えの平城だった。赤松氏の一族小寺氏の居城で、永正16年(1519年)に築城されたと伝えられている。天正7年(1579年)に羽柴秀吉に攻められ落城した。



太鼓橋

旧山陽道の天川にかかっていた長さ25mの総石造りの太鼓橋。文政11年(1828)の竣工で、御着城址公園に移築され現存する。

天下統一を陰で支えた希代の軍師——黒田官兵衛



黒田如水像

(原画は福岡市博物館蔵、姫路城展示パネル)



「藤紋」
日本十大紋の一つ。藤は長寿で繁殖力が高いことから「不死」の植物として、縁起がいいとされた。

平成26年のNHK大河ドラマは「軍師官兵衛」

平成26年の大河ドラマは戦国時代に豊臣秀吉が天下統一を果たした時に軍師として大きく貢献した黒田官兵衛が主人公。秀吉は歴史に残る数々の合戦に勝利を収め敵の領地を奪取していったが、それらの作戦立案に官兵衛が関わっていたことは間違いない。一方で茶の湯や和歌に親しんだ文化人で、敬虔なクリスチャンの一面もあり、その人物像は興味深い。今回は官兵衛が生まれ育った姫路のゆかりある寺社や城跡をめくってみた。

姫路城で誕生した官兵衛

黒田官兵衛は、天文十五年(一五四六)十一月に黒田識隆の嫡男として姫路城で誕生した。幼名は万吉。父の識隆は西播磨最大の領主で姫路の御着城主・小寺政識に仕え、姫路城の城代を努めていたが、一万石にも満たない小さな豪族だった。当時の姫路城は御着城の支城で、三重の大天守閣は秀吉による大改修(一五八〇年)で完成した。

官兵衛は家督を継いで永禄十年(一五六七)に姫路城代となった。永禄十二年(一五六九)には姫路に攻め込んできた龍野城主・赤松政秀率いる三千の軍勢を撃退、官兵衛の武名は近郷に知れ渡ることとなる。

戦国時代に頭角を現した織田信長は、元亀年間(一五七〇〜七三)には畿内(近畿地方)にも領国を拡大し、官兵衛のいる播磨にも勢力を伸ばしつつあった。信長に対抗するのは西国の大大名・毛利氏で、官兵衛の名家である小寺氏は信長につくか毛利につくかで迷っていた。小寺氏の重臣たちは毛利につくことを主張したが、官兵衛は織田氏につくべきと意見を述べる。それは、信長の性格や合戦の方法を良く調べたうえでの自説で、それに反

論できる者はいなかったという。官兵衛は小寺家の使者として信長に謁見、信長の天下統一に向けての中国地方平定には、姫路城の果たす役割が大きいことを滔々と述べた。信長はその口上に満足し、たらしく、その場で名刀「庄切」を官兵衛に与え、両者の協力関係は成立した。

信長、秀吉との出会い

信長は、中国地方の総指揮は秀吉が執ることを告げ、官兵衛と秀吉の主従関係が始まることとなる。毛利方は信長についた小寺氏を攻撃するため、天正四年(一五六六)五月に五千の兵で播磨の浜辺に上陸、姫路城に向かった。大軍を迎え撃つ官兵衛は、近在の百姓に旗や指物を掲げさせ、あたかも後陣に自軍の大軍が控えているようにみせかけ、上陸して一息ついている敵をわずか数百の軍で襲い、後方の百姓に聞の声を上げさせた。毛利勢は狼狽して退却、事なきを得た。官兵衛の智略に信長も唖ったというが、この一件で信長は中国攻めに猶予が無いことを知り、秀吉を播磨に派遣する。秀吉は官兵衛の居城である姫路城に入り、官兵衛を伴って近隣の諸將に味方につくよう説得を始めていくのである。

黒田官兵衛・関連年表	年	出来事
天文15年(1546)	小寺(黒田)職隆の嫡男として姫路城で生まれる。幼名は萬吉。	
永禄4年(1561)	御着城で小寺政職の近習として仕える。	
永禄5年(1562)	この頃元服し、官兵衛孝高と名乗る。	
永禄10年(1567)	志方城主・櫛橋伊定の娘を娶る。職隆に代わって姫路城代となる。	
永禄11年(1568)	嫡男長政(幼名・松寿丸)が誕生。	
永禄12年(1569)	龍野城主赤松政秀の来襲を青山の合戦で撃退する。	
天正3年(1575)	主君政職に織田信長への帰属を説き、岐阜で信長に拝謁。名刀「庄切」を与えられる。	
天正4年(1576)	英賀ノ浦(姫路市飾磨区)に上陸した毛利の大軍を迎え撃って大勝。信長より感謝状を贈られる。	
天正5年(1577)	播磨入りした羽柴秀吉のために姫路城を提供。	
天正6年(1578)	三木の別所氏ら播磨の諸將が毛利に寝返る。荒木村重が信長に謀反。村重説得のために有岡城(伊丹市)に入るが、捕えられ土牢に幽閉される。	
天正7年(1579)	有岡城が落城。自らの家臣に救出される。	
天正8年(1580)	城主別所長治が切腹し、三木城落城。小寺政職が御着城から逃亡したため姓を小寺から黒田に戻す。本能寺の変。	
天正10年(1582)	キリスト教に入信する。(洗礼名・シメオン)	
天正11年(1583)	九州征討の論功行賞で豊前6郡12万石の国守となる。	
天正15年(1587)	家督を長政に譲り「如水」と名乗る。	
天正17年(1589)	秀吉の小田原城攻めに参加。小田原城に乗り込み、北条氏政、氏直父子に講和を勧め、無血開城に導く。	
天正18年(1590)	朝鮮外征軍の軍監となって出兵する。	
文禄元年(1592)	朝鮮から許可なく帰国。秀吉の怒りを買い、頭を丸めて謹慎する。	
文禄2年(1593)	関ヶ原の役。中津城にあって兵を募り、石垣原の戦いなどで勝利。	
慶長5年(1600)	九州の大半を制圧するが、家康の命に従い停戦する。	
慶長9年(1604)	京の伏見屋敷で病没。享年59。	

姫路城

—大天守修理見学施設—

「天空の白鷺」

修復された大天守が間近に見える

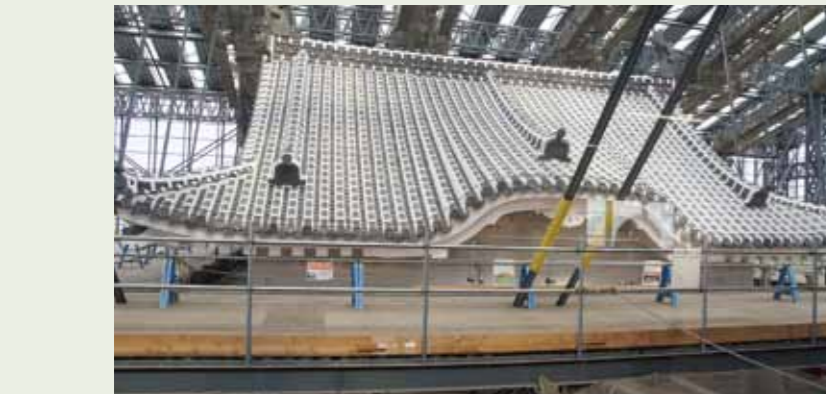
—平成26年1月15日まで—



姫路市内が見渡せる大パノラマが広がります。

姫路城

徳川家康の女婿・池田輝政により五重の天守閣が築かれました。大天守の高さは海拔91.9mで、現在は大修理の最中です。官兵衛は姫路城で生まれ、40年近くを播磨の地で過ごしました。



「天空の白鷺」最上階から間近に大屋根を見ることができます。

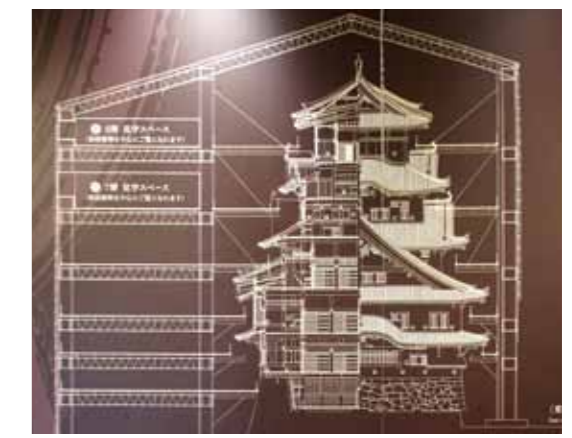
■ 開館・閉館時間	姫路城有料区域	天空の白鷺
通常期 (9月1日～4月26日)	9:00～17:00 (入城は16:00まで)	9:00～17:00 (入館は16:15まで)
夏期 (4月27日～8月31日)	9:00～18:00 (入城は17:00まで)	9:00～18:00 (入館は17:15まで)
■ 料金	大人：600円 …姫路城有料区域：400円+天空の白鷺：200円 こども(5才～中学生)：200円 …姫路城有料区域：100円+天空の白鷺：100円	
■ 休館日	12月29日・30日	



大天守は「素屋根」と呼ばれる囲いですっぽりと覆われています。素屋根の内部に見学用のエレベーターや資材運搬用の搬入路があります。



大手門に立っている「門番さくら組」の門番。



「天空の白鷺」の案内看板

姫路城には大天守、東西の小天守など8棟の国宝と、櫓や門など74棟の重要文化財があり、平成五年に法隆寺とともに日本で始めて世界文化遺産に登録された。城の美的完成度は我が国木造建築の最高位で、世界的にも類を見ない優れた建築物と評価されている。大天守閣の高さは地上から31.5mで、面積は約二千四百㎡、外観は五重、内部は地上六階、地下一階の構造。

大天守閣は平成二十三年から漆喰壁の塗り直しや屋根瓦の葺き直しを中心として、約五年かけて大規模な保存修理工事が行われている。修理期間中は大天守内部の見学はできないが、外観を見学するためのエレベーターが設置され、最上層の大屋根を間近に見学できる。この見学施設は「天空の白鷺」と呼ばれ、多くの見学者で賑わっており、平成二十六年一月十五日まで入場することができる。

天空の白鷺は、文化財の保護や保存修理に対する理解を深めることができ、一階では保存修理工事の概要や、姫路城の修理の歴史などを映像やパネルで紹介している。エレベーターに乗って八階に上がると、ガラス越しに大天守の大屋根が間近に迫る。この光景は



りの一渡櫓(特別公開中)

大天守の鯉瓦。



昭和の大修理の際に発見された甲冑。



姫路城の入口に大河ドラマ館がオープン。



大天守最上階には、四方の壁に2カ所ずつ窓枠があったにもかかわらず、窓として使われた形跡は無く、江戸時代の築城中に塗り込められて壁になったことが今回の改修工事で判明したそうです。恐らく、地震対策で壁になったとのことですが、もし窓になっていればさらに大パノラマの景色が楽しめました。(展示パネル)

通常見ることが出来ないため、一番の人気スポットだ。八階では姫路城の瓦の特徴や製造方法、保存修理の作業プロセスなどが模型や写真、図解で紹介されている。階段で一つ下の七階に降りると、ガラス越しに最上層の漆喰壁を間近に見学できる。姫路城の漆喰壁の特徴や現在の保存修理作業状況など、展示も充実している。

城内の「りの一渡櫓」では、江戸・明治・昭和の各時代によって変遷する大天守の鯉瓦の実物や、昭和の大修理の際に発見された古瓦や甲冑などを展示している。

キリスト教伝来の地を訪ねる(上)

平戸・長崎

平戸

ザビエルによる日本での布教活動の拠点

今年のNHK大河ドラマ「八重の桜」の主人公新島八重は、キリスト教の洗礼を受け、同志社での教育活動に従事したが、明治初期、日本の社会では、キリスト教への拒否反応は非常に強かった。そもそも江戸時代の約二百五十年間、キリスト教は禁教であり、明治政府も当初は幕府の禁教政策を受け継いでいた。政府が外国の要求によってキリスト教禁教の高札を撤去したのは明治六年のことであり、八重は新島襄とともにさまざまキリスト教の学校運営に携わった。そうした八重や襄の活動を献身的に支えたのは、アメリカからの宣教師たちであった。

キリスト教が日本社会に与えた多大な影響を探るためには、戦国時代にまでさかのぼらねばならない。キリスト教の伝来と南蛮貿易の拡大、江戸時代の禁教政策と信者への弾圧、明治期の解禁と発展——キリスト教の様々な変遷が凝縮されている長崎地方の歴史を一回に分けて紹介する。

ポルトガル船、オランダ船の入港と海外貿易の始まり

フランシスコザビエルが宣教師として、始めて日本に渡ったのは天文十七年(一五四九)であり、薩摩藩内の伊集院に上陸したという。直後、ザビエルは薩摩藩主・島津貴久に謁見、藩内での布教の許可を得るが、仏僧の助言を聞き入れた貴久は一転して布教を拒否。そのためザビエルは薩摩を離れ、天皇に拝謁するべく京を目指した。

京へと向かう道中、ザビエルは平戸にポルトガル船が入港したことを知り、天文十八年(一五五〇)、平戸に立ち寄る。平戸藩主松浦隆信はポルトガルとの貿易による利益を得るため、貿易商との関わりが深い宣教師のザビエルに、領内での布教を許した。平戸に入ったザビエルは領民約百人を信者にし、日本での布教の可能性を確信、さらに京都を目指した。

天文九年(一五五二)月、ザビエルは京都に到着するが、天皇に差し上げる献上品もなく、拝謁の目的はかなわず、同年三月

平戸に戻る。

ザビエルは同年十一月まで平戸で精力的な布教活動を行い、その後インドへと出発した。ザビエル離日後は別の宣教師が平戸を訪れ、信者の数は増え続けた。かくして、フランシスコザビエルの功績により、平戸は我が国でのキリスト教布教の原点となった。当時、ポルトガルは対日貿易を進めるうえで、キリスト教の布教を奨励していたため、信者が増えることは貿易の振興につながり、平戸は南蛮貿易の重要な拠点ともなっていく。

しかし、順調とも見えたポルトガルとの貿易に、突如暗雲が垂れ込める。永禄四年

(一五六二)、日本人商人とポルトガル船員との間で、商品価格を巡ってのトラブルが起こる。仲裁に入った武士に船員が切りつけたため殺傷事件となり、ポルトガルとの交易は衰退していった。

その一方、オランダ船が平戸に入港すると、慶長十四年(一六〇九)、オランダ東インド会社が平戸に商館を建てて、再び海外との貿易が活発化した。しかし、その後、オランダとの交易も鎖国政策の影響で暗転する。寛永十八年(一六四二)には、平戸オランダ商館は取り壊され、長崎の出島に移転となり、幕府の監視下での貿易に限定されることとなった。



オランダ商館内部



オランダ橋(幸橋)



オランダ塙
元和四年(一六一八)築造。オランダ商館の本館・倉庫・火薬庫などを増築した際にこれらの目隠しとして建てられた石塙



平戸ザビエル記念教会
昭和6年(1931)に建設された、ゴシック様式の尖塔を持つ教会で、左右非対称の設計が特徴



平戸大橋(ひらどおおはし)
平戸島と本島を結ぶ吊橋で、全長約605m



聖フランシスコザビエル記念像
東洋の使徒、偉大な聖者として尊敬されているザビエルは、1506年スペインの貴族の子として生まれ、イエズス会を創立した(像は平戸ザビエル記念教会に隣接)



三浦按針の木像(オランダ商館内)
按針は慶長5年(一六〇〇)、オランダ船リッペで豊後(大分県)に漂着。その後徳川家康の外交顧問としてオランダ商館設置に貢献し、平戸で亡くなった

長崎

キリスト教の容認と貿易振興 長崎の開港

日本で初めてのキリスト教大名 大村純忠

大村純忠は戦国大名のひとりであり、日本最初のキリスト教大名として、歴史にその名を刻んでいる。さらに、純忠はポルトガルとの交易に関心を持っていった。永禄四年(一五六二)、平戸で発生した殺傷事件を機に、ポルトガルが別の貿易相手を探していた際、大村領内の横瀬浦(現在の西海市西海町横瀬郷)を候補にあげる。領主の純忠はこれを歓迎し、翌年に横瀬浦を開港、教会を建て、キリスト教の布教を許可した。かくして横瀬浦にはポルトガル船が入港し、港町として賑わう

異国情緒あふれる東洋の「小ローマ」

南蛮貿易港から、全国的に広まったキリスト教

大村領の横瀬浦が焼き打ちにあった後、南蛮貿易港は大村領内の福田港に移ったが、外海に面しており船が停泊しづらいという難点があった。また、敵対する平戸の松浦隆信は、ポルトガル船が平戸を見限り、大村領に入港することに腹を立て、攻撃を仕掛けてきていた。そのため純忠は福田に変わる港を探し、元亀元年(一五七〇)、大村領の長崎をポルトガル船の寄港地に決定した。

が、開港から二年後、かねてから敵対関係にあった純忠の義弟大村貴明の攻撃に合い、横瀬浦は焼失する。弱肉強食の戦国時代において、純忠は大村領主として領土を守り、南蛮貿易による利益を得たいがためキリスト教に信、宣教師との関係を良好に保とうとしていた。貿易の続行を図った純忠は、焼失した横瀬浦に代わる港を探し、長崎と福田港(現在の長崎市福田本町)を新たな候補地とする。

長崎には多くの教会が建てられ、その街並みはさながら小さなローマのようであったという。病院や慈善事業の施設が造られ、キリストの慈悲と愛を説く教義に人々は感銘した。慶長十五年(一六一〇)、長崎に住む約二万五千人のほとんどはキリスト教徒だったという。キリスト教はしだいに日本全国に広まり、慶長十九年(一六四四)には、日本のキリスト教は三十万人以上に達した。

長崎の史跡

PHOTO ALBUM



旧グラバー邸(南山手町・重要文化財)



出島の町並み(出島町・国指定史跡)



眼鏡橋(中島川に架橋・重要文化財)



オランダ坂(東山手洋風住宅群)

長崎とキリスト教にまつわる主な出来事

和暦	西暦	出来事
天文 17	(1549)	ザビエル、鹿児島上陸(キリスト教伝来)
	18	(1550) ザビエル平戸で布教開始
永禄 6	(1563)	大村純忠、受洗
	12	(1569) 織田信長、フロイスに京都布教を許す 長崎初の教会が建つ(サントス教会)
天正 8	(1580)	有馬のセミナリオ開設
	10	(1582) 天正遣欧使節、長崎を出発 本能寺の変、織田信長没する
	12	(1584) 有馬晴信、浦上村をイエズス会に寄進
	13	(1587) 大村純忠没する 豊臣秀吉、博多で伴天連追放令を發布
	16	(1588) 秀吉、長崎、茂木、浦上を直轄地とする
	18	(1590) 天正遣欧使節、帰国。活版印刷機を持ち帰る
慶長 2	(1597)	二十六聖人、西坂の丘で殉教
	3	(1598) 豊臣秀吉没する
	5	(1600) 関ヶ原の戦い
	8	(1603) 徳川家康、江戸幕府をひらく
	10	(1605) 大村領長崎村、天領となる
	14	(1609) 平戸オランダ商館設立
	15	(1610) 有馬晴信、長崎港でポルトガル船を撃沈
	17	(1612) 岡本大八事件で、有馬晴信斬首
	18	(1613) 平戸イギリス商館開設 伊達政宗、慶長遣欧使節派遣
	19	(1614) 長崎の諸教会がほとんど破壊される 全国に禁止令
寛永 4	(1627)	雲仙地獄で拷問はじまる
	5	(1628) このころ長崎と周辺で絵踏みがはじまる
	13	(1636) 出島完成、ポルトガル人収容
	14	(1637) 島原の乱勃発
	15	(1638) 島原の乱鎮圧
	18	(1641) 平戸オランダ商館を長崎出島に移転
正保 元	(1644)	国内最後の神父殉教(小西マンショ)
明暦 3	(1657)	大村郡崩れ(キリスト教の摘発)はじまる
寛政 5	(1858)	長崎奉行、絵踏みを禁止 日本、欧米と修好通商条約締結
文久 2	(1862)	東山手に日本で最初のプロテスタント教会 建つ ジラール、開国後日本で最初の教会を建てる ローマで二十六殉教者列聖式
慶応 元	(1865)	大浦天主堂献堂 信徒発見
明治 6	(1873)	キリスト教禁制の高札撤去
	8	(1875) 同志社英学校が開校
	15	(1882) 開国後、最初の日本人司祭誕生
	22	(1889) 大日本帝国憲法発布
昭和 8	(1933)	大浦天主堂、国宝指定
	20	(1945) 長崎に原爆投下、浦上教会など崩壊 終戦
	21	(1946) 日本国憲法公布
平成 19	(2007)	長崎の教会群などが世界遺産候補になる



田平教会(平戸市田平町・重要文化財)



日本二十六聖人記念碑(西坂町)



大浦天主堂(南山手町・正式名称は日本二十六聖殉教者堂・国宝)



稲佐山からの夜景は、新・世界三大夜景に選ばれている

温度といきもの

今年の夏は酷暑の表現では不十分なくらいの暑さであった。熱中症で死者が多数でた事態になったが温度と人間を含めて、いきものとの関係はどうか。酷暑の夏の後には殺人寒波の冬が来る順序になる。温度とは何か、日常眺めている温度計はスエーデンの物理学者アンドレー・セルシウスが氷点を0℃、沸点を100℃(正確には99.975℃)と定めた摂氏℃の値である。この他ドイツの学者、ファhren、ファイトの定めた華氏°F(32℃)とフランスのレオミュールが定めたレッシ(今では使用されていない)がある。学術的には、最低温度と考えられる(マイナス)1273.15℃を絶対零度とするケルビン(K)度があるが、これが低温度での最低値であることはあまり知られていない。高温の方には限度はない。

ここで、温度と我々「いきもの」との関係を資料によって調べてみると、いきもの：生物には水分が存在するが、それが温度が高くなれば、水分子の熱運動は活発になり、温度が低くなると熱運動は低くなる。生物が生存できる為には、それに適した温度範囲がある。生物にとって摂氏15℃及び30℃、45℃、60℃は注目すべき「区切り」の温度である。温血動物は体温が18〜20℃まで冷えると、体温を調節する機能を失い血液を造ることが出来なくなり、血液の呼吸機能が低下する。この状態が長く続くと、脳組織に酸素が不足して死にいたる。人間は体温が27℃にまで低下してしまうと凍死する。従って短時間なら裸で、雪の中を走っても、直ちに体温は低下せず大丈夫であるが、気温が10℃くらいの状態で、戸外で酔って眠ってしまうなど、長い時間低温に置かれると体温は27℃以下になり凍死してしまう。人は体温が35℃にもなると、方向感覚が鈍り、性格も内向的になり、30℃で無感覚になり、27℃で死に至る。昔、日露戦争に備えての耐寒演習で、青森の連隊の兵士が八甲田山で吹雪に会い多数が凍死した悲惨な歴史がある。また体温は外気温や発熱などで45℃にまで上昇してしまうと死亡してしまう。ここで◎温度と生物との関係を調べると

生物を広く見て、蟻は15℃前後で運動が鈍くなり、植物の多くは15℃以上は安全であるが10℃になると、明らかに障害をつける。生物にとっての「区切り」の温度としては摂氏15℃、30℃、45℃、60℃があるが生物と温度との関係を示すと

- ◎致死または有害温度については
- 60℃：低温殺菌。45℃：人、哺乳類。30℃：昆虫、人、哺乳類。15℃：植物低温障害。
- ◎最適温度については
- 53〜55℃：耐熱性バクテリア。41℃：鳥類。37〜38℃：人、哺乳類。23〜25℃：昆虫、魚、土壌バクテリアである。

以上を示した四つの「区切り」の温度は生物にとって好ましくない温度なので、生物は進化の過程で転移温度の中心で生きるようになった。例えば30℃と45℃をとると、生存にとって有害な変化が生ずるので最適温度として37〜38℃を選んだのである。鳥類が高いのは、飛ぶのに大きなエネルギーを必要とするからである。

気温との関係については、気候の変動は元来、地軸の傾斜、歳差運動、公転軌道の変化による地球の受け取る太陽エネルギーの量によるところが大きい。近年では温室効果ガスの影響で高温が続いている。本来ならば地球は氷河期に入る時期にあり、人間活動による地球の温暖化に異論を唱える人もいるが、現実には氷床の減少、海水に蓄えられた熱の増加などあらゆるものが、温暖化の進展の傾向を示している。人は暖房にも冷房にも多くのエネルギーを消費して正常な体温を維持しているが、この気温の異常は一般生物の生態に関しては、従来からの平衡摂理を保つことが出来なくなり深刻な事態をおこすかもしれない。

(大和環境技術研究所 阿部二郎 記)

八重の桜 ゆかりの場所

八重、新島襄が眠る同志社墓地(京都市若王子)



新島 襄



新島八重

新島襄(右)と八重(左)の墓 (安中市新島旧宅展示パネル)

明治23年(1890)1月23日、新島襄は大学設立資金の募金活動で訪れていた前橋市で病に倒れ、療養先の大磯で永遠の眠りについた。襄の遺体は京都に還り、葬儀は同月27日に同志社のチャペルで行われた。参列者は約3千人で、生徒たちが代わる代わる恩師の棺をかつぎ、同志社から墓地のある若王子山頂へと向かった。降りしきる氷雨の中、葬列には全校生徒が加わったという。弔いのため、何本もの幟が立てられ、その中には徳富蘇峰が勝海舟に頼んだ墨書もあったという。

襄の永眠後、八重は同志社とやや距離を置きながら、茶道に打ち込んで裏千家十三代家元の圓能齋に弟子入りした。女性として最高位の資格を得て、師範として弟子をとるほどだった。また、社会奉仕活動では、襄の亡くなった明治23年(1890)に日本赤十字社正社員となり、その後日清・日露戦争に篤志看護婦として従軍、この功績により明治30年(1897)には勲六等宝冠章を受けている。

昭和7年(1932)6月14日、八重は急性胆のう炎を患い永眠、享年86歳だった。八重の葬儀は「同志社の母」にふさわしく、その年完成したばかりの同志社栄光館で同志社葬として営まれ、4千人もの参列者があったという。今も同志社の関係者が葬られている同志社墓地で、襄の左隣に眠っている。

幕末から大正・昭和と激しく移り変わる激動の時代を、会津武士の魂とキリスト教精神を併せ持ち、力強く生き抜いた生涯だった。



鬱蒼とした山道を約20分登ります



八重と襄を支えた山本覚馬の墓も同志社墓地にあります

お客様紹介

医療法人愛広会様

新潟県新潟市

新潟リハビリテーション病院・新リハビリ棟（ロコパーク）が竣工



新潟リハビリテーション病院(左奥) メディカルフィットネス ロコパーク(中央) 尾山愛広苑(右)

新潟リハビリテーション病院は、地域に根ざし、充実したリハビリテーションを行う施設としての役割を担っています。新リハビリ棟（ロコパーク）の開設により、回復期リハビリを始めてとして転倒予防やスポーツリハビリ、在宅介護支援のための通所リハビリと範囲を広げた複合施設としての機能を持ちました。空調設備工事では、新リハビリ棟増築による空調熱源工事と、新潟リハビリテーション病院に併設された介護老人施設尾山愛広苑の空調熱源更新工事を施工、ヤマト大温度差蓄熱空調システムの導入で、省エネを図っています。



（11月1日ランドオープン）
メディカルフィットネス ロコパークは、医療とフィットネスを融合させたメディカルフィットネスです。治療を目的にしたリハビリテーションに加え、予防医療の充実による健康長寿の実現を目指す施設です。新潟リハビリテーション病院の併設なので、医療面からのサポート体制が充実しています。



メディカルフィットネス ロコパークの外観



メディカルフィットネス ロコパークのエントランス

お客様の声

空調熱源は電気で検討

当法人の建物の中に、竣工後10年〜15年経過し、空調設備の更新時期を迎えるものがあり、空調熱源をどうするかというテーマがありました。当法人の建物は比較的人口の少ない地域に多いので、そうした地域には都市ガスがありません。都市ガスはエネルギーコストが相対的に低いのですが、それが使えないことが前提条件でした。さらに、現在の建物は灯油を使用しており、竣工当初はインシャルコスト、ランニングコストともメリットがあったのですが、この数年は原油価格の高騰でランニングコストが上昇し、負担が大きくなっています。設備更新の時に都市ガスと灯油の使用は選択肢から外れるので、空調熱源には電気を有効に利用する方向で検討に入りました。複数の業者さんから、設備更新の提案をいただいたのですが、電気を使ってもランニングコストの削減は微々たるもので、インシャルコストの投資回収に20年かかるといった提案もありました。また、大幅なランニングコストの削減を提示するものもありましたが、その信用性が低い等、空調熱源の選択は難しい課題となりました。

医療法人愛広会 総務部・企画部部长 村山浩太郎様

投資回収率、効果保証、実績が決めた

様々な提案の中で、ヤマトさんから提案されたシステムが、ランニングコストの削減率が大きかったこと、その削減分を保証するという点が他社との大きな違いです。これはメリットがあると判断し、上司に説明しました。また、ヤマトさんは介護施設での空調設備施工と運転管理で実績をお持ちで、近隣の介護施設でも実績をあげていることも後押ししました。実際に新潟県三条市の「つかのめ」里さんに見学に行き、利用者の感想を聞くことができたのも安心感につながりました。今から3年ほど前、東京ビッグサイトで開催された「蓄熱フェア」に、情報収集に行った時に、ヤマトさんの説明を詳しく聞き、徐々にヤマトさんの蓄熱システムへの関心が高まってきたことを思い出します。私たちにとって経費削減は日頃からの課題です。ヤマトさんの蓄熱システムでエネルギーコストの削減が図れることを期待しています。

尾山愛広苑



尾山愛広苑の外観



多目的に利用できる広々とした体育室、体育室上階がフィットネスルームで、開放感があります



最新の機器が揃うフィットネスルーム

新潟リハビリテーション病院に併設し、入所者の自立と在宅復帰を目的とし支援する施設です。医師をはじめ、看護師、介護士のほか、理学療法士（PT）や作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）といったリハビリスタッフ、支援相談員、管理栄養士、介護支援専門員などの専門スタッフが、医学的管理のもとで看護、リハビリ、食事・入浴・排泄等の介助サービスを行い、入所者の多様なニーズに対応しています。また、在宅療養生活を支援するヘルパーステーションや、居宅支援センター、グループホーム、小規模多機能施設なども隣接しています。

取材日:平成25年10月8日



メディカルフィットネス ロコパーク MAP 1

メディカルフィットネス ロコパークは、医学的サポートを受けながら運動できる医療法人運営のフィットネスセンターです。医療の分野(メディカル)と運動の分野(フィットネス)を連携させた科学的な運動を提案いたします。健康の維持・増進のためのトレーニングや、生活習慣病の予防・改善、肩・腰・ひざ等への痛みの予防・改善に向けたトレーニングのほか、アスリートの競技力向上および早期の競技復帰に向けたトレーニングなども行います。健康運動指導士、トレーナー、理学療法士(リハビリ)が、お一人おひとりにピッタリ合ったオーダーメイドの運動プログラムを作成し、皆さまの“なりたい自分”を応援いたします。

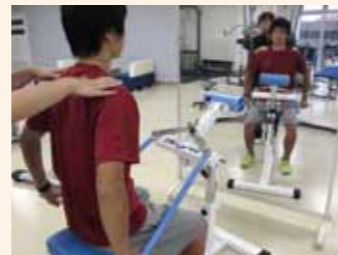


- 【メニュー】** 入会金 4,200円
月会費 4,725円から
酸素カプセル(60分) 1,050円
パーソナルコンディショニング(40分) 3,150円
- 【営業日】** 月・水～金曜日 9:00～21:00
土・日・祝祭日 9:00～17:00
- 【休館日】** 毎週火曜日、
年末年始ほか不定休あり



酸素カプセル

- トレーニングジム
- フロアプログラム
- メディカルチェック
- 酸素カプセル
- パワープレート
- パーソナルコンディショニング



〒950-3304 新潟県新潟市北区木崎761
(新潟リハビリテーション病院併設)
TEL. 025-368-7500 FAX. 025-368-7501
MAIL. locopark@aiko.or.jp

ロコパーク

アクティブデイぼたんやま MAP 5

アクティブデイぼたんやまは、機能訓練に特化した半日型のデイサービス(通所介護施設)です。理学療法士(PT)が常駐し、皆さまの自立支援や疾病予防(転倒や骨折など)・介護予防に向けて機能訓練のお手伝いをするほか、必要に応じて言語聴覚士(ST)の機能訓練も受けることができます。1日3時間の半日型デイサービスであっても、ご本人に合った運動メニューをたっぷりとおこなっていただきますので、しっかりと運動していただけます。個々に目標を掲げ、ご利用者様どうし互いに励まし合いながら、楽しくトレーニングをしていただいております。



〒950-0872 新潟県新潟市東区牡丹山4-8-5
TEL. 025-256-6565 FAX. 025-256-6566

ぼたんやま

医療法人 愛広会様

<http://www.aiko.or.jp/>

医療法人愛広会様は、新潟県で医療・福祉のネットワークを築き、地域の皆様の健康的な生活を支援しています。病院は新潟リハビリテーション病院(新潟市)、豊浦病院(新発田市)があり、地域医療の拠点として信頼されています。介護老人保健施設は新潟県内で6カ所運営し、豊かな自然の中で療養できる施設が揃っています。

また、医療法人愛広会様は、教育・医療福祉をはじめ関連事業を幅広く展開し躍進を続けるNSGグループの中核をなす法人で、質の高い医療福祉サービスを提供し社会の発展に貢献しています。

- 1 新潟リハビリテーション病院
メディカルフィットネス ロコパーク
- 2 豊浦病院
- 3 聖籠クリニック
デイサービスはすがた(通所介護)
- 4 デイサービスセンターはやどおり(通所介護)
- 5 アクティブデイぼたんやま(通所介護)
- 6 介護老人保健施設 尾山愛広苑
- 7 介護老人保健施設 関川愛広苑
- 8 介護老人保健施設 中条愛広苑
- 9 介護老人保健施設 相川愛広苑
- 10 介護老人保健施設 新井愛広苑
- 11 介護老人保健施設 豊浦愛広苑
- 12 ケアステーションどっこん
- 13 リビングサポートおやま
- 14 介護付有料老人ホーム
愛広苑番館



NSGグループ所属法人

- 学校法人新潟総合学園
- 学校法人新潟総合学院
- 学校法人国際総合学園
- 学校法人大彦学園
- 株式会社NSG教育ネットワーク
- 株式会社NSGアカデミー
- 株式会社クレアール
- 株式会社エデュースホールディングス
- 株式会社ウイネット
- 株式会社サーティファイ
- 医療法人愛広会
- 社会福祉法人愛宕福祉会
- 社会福祉法人上越あだご福祉会
- 愛宕商事株式会社
- 株式会社はあとふるあだご
- 株式会社ベスト・ケア
- 株式会社アイ・シー・オー
- 株式会社日本フードリンク
- 株式会社ライブプロモート
- 株式会社ジェイ・エス・エス
- 株式会社事業創造サポート

お客様紹介

愛広会
〒950-3304
新潟県新潟市北区木崎761
TEL.025-384-1581 FAX.025-384-7085

◆愛広会沿革

- 平成 2年 6月 「尾山病院」開設(100床)
- 平成 5年 11月 医療法人愛広会設立
- 平成 8年 4月 介護老人保健施設「尾山病院」開設(100床)
- 平成 9年 7月 介護老人保健施設「関川愛広苑」開設(80床)
- 平成 11年 7月 介護老人保健施設「中条愛広苑」開設(100床)
- 平成 11年 9月 介護老人保健施設「相川愛広苑」開設(150床)
- 平成 12年 4月 「聖籠クリニック」開設「グループホームおやま」開設(定員9名)
- 平成 12年 5月 介護老人保健施設「新井愛広苑」開設(100床)
- 平成 13年 4月 尾山病院を「新潟リハビリテーション病院」に改組(168床)
- 平成 16年 12月 「デイサービスセンターはやどおり」開設(定員30名)
- 平成 17年 2月 「新潟リハビリテーション病院」併設
「デイケアセンターきざき」開設(定員20名)
- 平成 17年 3月 「豊浦病院」開設(180床)
介護老人保健施設「豊浦愛広苑」開設(100床)
- 平成 19年 6月 「キッズルームとようら」開設
- 平成 19年 6月 「ケアステーションどっこん」開設(登録定員25名)
「グループホームどっこんの家」開設(定員9名)
- 平成 19年 6月 「きざきキッズルームさくらんぼ」開設
- 平成 21年 4月 「リビングサポートおやま」開設(登録定員25名)
- 平成 22年 4月 「介護付有料老人ホーム愛広苑番館」開設(定員90名)
- 平成 25年 4月 「アクティブデイぼたんやま」開設(半日型通所介護)(定員15名)
- 平成 25年 11月 メディカルフィットネス「ロコパーク」開設
- 平成 25年 12月 「アクティブデイできじま」開設(予定)(半日型通所介護)



NSGグループの概要

池田弘代表が1976年に設立。現在ではグループ総従業員数約3,800名を数え、所属法人は愛広会をはじめ21法人と躍進を続けています。教育分野では、大学院大学、大学、専門学校、高等学校、学習塾、資格試験スクール、資格検定試験の事業や出版事業などを幅広く展開。また医療・福祉の分野では病院や介護施設を、さらに商社や広告代理業、総合給食事業、起業支援・アウトソーシング業といった様々な分野で、新潟県を中心に事業を拡大しています。

「和's YAMATO」の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water & Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。
ヤマトが発信するメッセージです。

株式会社ヤマトPR誌/和's YAMATO 2013 冬号/2013年12月発行

発行: 株式会社ヤマト(総務部) 群馬県前橋市古市町118

TEL.027-290-1891 FAX.027-290-1896

URL: www.yamato-se.co.jp/



環境省選定
名水探訪
名水百選

いずるはらべんてんち 出流原弁天池



出流原弁財天は、藤原秀郷が勧請したと伝えられています
周囲138mの丸い池です



栃木県佐野市街地から北西約6 kmの位置にある遊水池です。古生層石灰岩の割れ目から清水が湧きだし、浅く澄んだ水中を鯉が悠々と泳いでいるのを見ることが出来ます。湧水は、厚い土の層がフィルター的作用をして濾過されます。水温は年間を通し約16℃と一定で、豊かな水量を誇っています。出流原弁天池は、環境省指定の日本名水百選に選定されており、栃木県の天然記念物に指定されています。

池底には地下洞窟の存在が推測されています。



【お問い合わせ】

出流原弁財天観光協会 TEL.0283-25-0228

【水のお持ち帰り】

水のお持ち帰りについては、ホテル一乃館にてお尋ね下さい。
ホテル一乃館 (佐野市出流原町1262 TEL.0283-25-0228)

【アクセス】

- ◎ JR両毛線、東武佐野線「佐野駅」より車で25分
- ◎ 東北自動車道「佐野藤岡IC」より車で約30分



群馬県前橋市古市町118 〒371-0844

TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896

支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北

営業所/軽井沢、伊勢崎、茨城、太田、神奈川県央、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、滋賀

附属施設/大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、教育センター

ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

表紙の写真

五竜岳(ごりゅうだけ)。飛騨山脈(北アルプス)後立山連峰にそびえる標高2,814mの山。山頂部には、四つ割の菱形が象られた武田の家紋のように見える模様が浮き上がる。これは冬山ならではの光景である。
撮影者 大谷隆司さん。